

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公開番号】特開2011-91376(P2011-91376A)

【公開日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2010-207551(P2010-207551)

【国際特許分類】

H 01 L 21/8234 (2006.01)

H 01 L 27/088 (2006.01)

H 01 L 29/786 (2006.01)

H 01 L 21/336 (2006.01)

H 01 L 27/08 (2006.01)

G 02 F 1/1368 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

H 05 B 33/14 (2006.01)

【F I】

H 01 L 27/08 1 0 2 B

H 01 L 29/78 6 1 8 B

H 01 L 29/78 6 1 9 A

H 01 L 27/08 3 3 1 E

H 01 L 27/08 1 0 2 C

G 02 F 1/1368

H 05 B 33/14 A

H 05 B 33/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月7日(2013.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動回路と、画素と、第1のトランジスタと、第1の配線と、第2の配線と、第3の配線と、を有する表示装置であって、

前記駆動回路は、前記第1の配線を介して前記画素に画像データを供給することができる機能を有し、

前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、前記第1の配線と電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、前記第2の配線と電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのゲートは、前記第3の配線と電気的に接続され、

前記前記第3の配線は、前記第1のトランジスタのオンまたはオフを制御する信号を供給することができる機能を有し、

前記第1のトランジスタは、チャネル形成領域を含む酸化物半導体層を有し、

前記第1のトランジスタは、デプレッション型であることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

駆動回路と、画素と、第1のトランジスタと、第1の配線と、第2の配線と、第3の配線と、を有する表示装置であって、

前記駆動回路は、第2のトランジスタを有し、

前記駆動回路は、前記第1の配線を介して前記画素に画像データを供給することができる機能を有し、

前記第2の配線は、第1の電位を供給することができる機能を有し、

前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、前記第1の配線と電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、前記第2の配線と電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのゲートは、前記第3の配線と電気的に接続され、

前記前記第3の配線は、前記第1のトランジスタのオンまたはオフを制御する信号を供給することができる機能を有し、

前記第1のトランジスタは、チャネル形成領域を含む第1の酸化物半導体層を有し、

前記第2のトランジスタは、チャネル形成領域を含む第2の酸化物半導体層を有し、

前記第1のトランジスタは、デプレッション型であることを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 2において、

前記第1の酸化物半導体層の膜厚は、前記第2の酸化物半導体層の膜厚よりも大きいことを特徴とする表示装置。

【請求項 4】

請求項 2または請求項 3において、

前記第1のトランジスタのチャネル幅は、前記第2のトランジスタのチャネル幅よりも大きいことを特徴とする表示装置。